患者向医薬品ガイド
2025年1月更新

ケトプロフェンテープS20mg「テイコク」
ケトプロフェンテープ40mg「テイコク」

【この薬は？】

販売名	ケトプロフェンテープ S20mg「テイコク」 KETOPROFEN Tapes S20mg 「TEIKOKU」	ケトプロフェンテープ 40mg「テイコク」 KETOPROFEN Tapes 40mg 「TEIKOKU」
一般名	ケトプロフェン Ketoprofen	
含有量（1枚中）	ケトプロフェン　20mg	ケトプロフェン　40mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。
したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。
医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。
ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。
さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、経皮鎮痛消炎剤と呼ばれるグループに属する貼り薬です。
・この薬は、炎症にかかわるプロスタグランジンという物質の産生を抑えることで、鎮痛、消炎作用をあらわすと考えられています。
・次の目的で処方されます。
〇下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎
腰痛症（筋・筋膜性腰痛症、変形性脊椎症、椎間板症、腰椎捻挫）、変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎（テニス肘等）、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛
〇関節リウマチにおける関節局所の鎮痛
・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに使用することが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

〇次の人は、この薬を使用することはできません。

・過去にケトプロフェンテープ「テイコク」に含まれる成分で過敏症のあった人
・アスピリン喘息（非ステロイド性抗炎症剤などにより誘発される喘息発作）の人、または過去にアスピリン喘息になったことがある人
・過去にチアプロフェン酸、スプロフェンおよびフェノフィブラートで過敏症のあった人
・過去にオキシベンゾンおよびオクトクリレンを含む製品（サンスクリーンや香水など）で過敏症のあった人
・過去に光線過敏症（日光のあたる部分に痒みや痛みを伴う発疹や、水ぶくれができやすい、日焼けをした場所が傷痕になったり、色がなかなか消えない）になったことがある人
・妊娠後期（妊娠２８週以降）の人

〇次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

・気管支喘息のある人
・皮膚感染症のある人
・妊婦（妊娠後期を除く）または妊娠している可能性のある人

〇この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

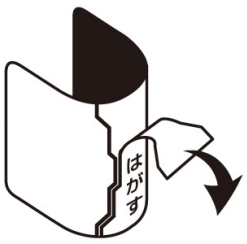
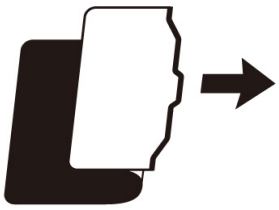
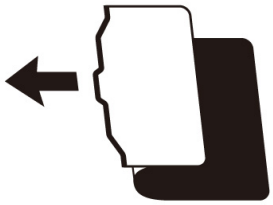
●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、使用回数は、１日１回です。

●どのように使用するか？

患部に貼ってください。

＜ケトプロフェンテープ「テイコク」の貼り方＞

1.	2.	3.
		
はじめに２つに折り曲げ中央のフィルムをはがし患部にはります。	左または右のフィルムをはがしながらはります。	残りのフィルムをはがしながらはります。

●使用し忘れた場合の対応

貼り忘れに気付いた時点ですぐに貼ってください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・接触皮膚炎があらわれることがあるので、発疹・発赤、かゆみ、刺激感などの皮膚症状があらわれた場合は、ただちに使用を中止し、患部を光に当てないようにして、医師または薬剤師に相談してください。

・光線過敏症があらわれることがあるので、使用中は天候にかかわらず、戸外の活動を避けるとともに、日常の外出時も、この薬を貼っている部分を色物の服やサポーターで覆い、光に当たらないよう注意してください。なお、使用後も当分の間は、同様に注意してください。異常を感じた場合は、ただちに使用を中止し、患部を光に当てないようにして、医師または薬剤師に相談してください。

・この薬による治療は病気の原因に対して行われるものではなく、症状を軽減するために行われるものです。

・粘膜や傷、湿疹または発疹のある部位には使用しないでください。

・妊娠後期（妊娠２８週以降）の人は使用することはできません。

・妊婦（妊娠後期以外）または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。

・高齢の人はこの薬を貼っている部分の皮膚の状態に注意しながら慎重に使用してください。

・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい
喘息発作の誘発（アスピリン喘息） ぜんそくほっさのゆうはつ（アスピリンぜんそく）	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと音がする、息苦しい
接触皮膚炎 せっしょくひふえん	かぶれ、接触部位の発赤、皮膚のかゆみやひりつき
光線過敏症 こうせんかびんしょう	日光のあたる部位に痒みや痛みを伴う発疹や、水ぶくれができやすい、日焼けをした場所が傷痕になったり、色がなかなか消えない

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき
頭部	めまい、意識の消失
顔面	顔面蒼白（そうはく）
口や喉	喉のかゆみ
胸部	動悸（どうき）、息苦しい、息をするときゼーゼー、ヒューヒューと音がする
手・足	手足が冷たくなる
皮膚	日光のあたる部位に痒みや痛みを伴う発疹や、水ぶくれができやすい、日焼けをした場所が傷痕になったり、色がなかなか消えない、かぶれ、接触部位の発赤、皮膚のかゆみやひりつき、全身のかゆみ、じんま疹

【この薬の形は？】

販売名	ケトプロフェンテープ S20mg「テイコク」	ケトプロフェンテープ 40mg「テイコク」
形状	長方形の貼付剤	
大きさ	7cm　×　10cm	10cm　×　14cm
色	無色半透明（膏体面）	
におい	わずかに特異なにおいがある	

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ケトプロフェンテープ S20mg「テイコク」	ケトプロフェンテープ 40mg「テイコク」
有効成分	ケトプロフェン	
添加物	スチレン・イソプレン・スチレンブロック共重合体、脂環族飽和炭化水素樹脂、水素添加ロジングリセリンエステル、ポリブテン、BHT（ジブチルヒドロキシトルエン）、l-メントール、流動パラフィン、その他３成分	

【その他】

●この薬の保管方法は？

・直射日光と湿気を避けて室温（１～３０℃）で保管してください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

・絶対に他の人に渡してはいけません。
・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：帝國製薬株式会社（https://www.teikoku.co.jp）
医薬営業部　製品情報室
電話番号：0120-189-567
受付時間：月～金　9時～17時30分（祝日、当社休日を除く）